

# 決算説明資料

2021年3月期 第2四半期

インヴァスト証券株式会社

# 四半期決算概要 (2020.7～9)

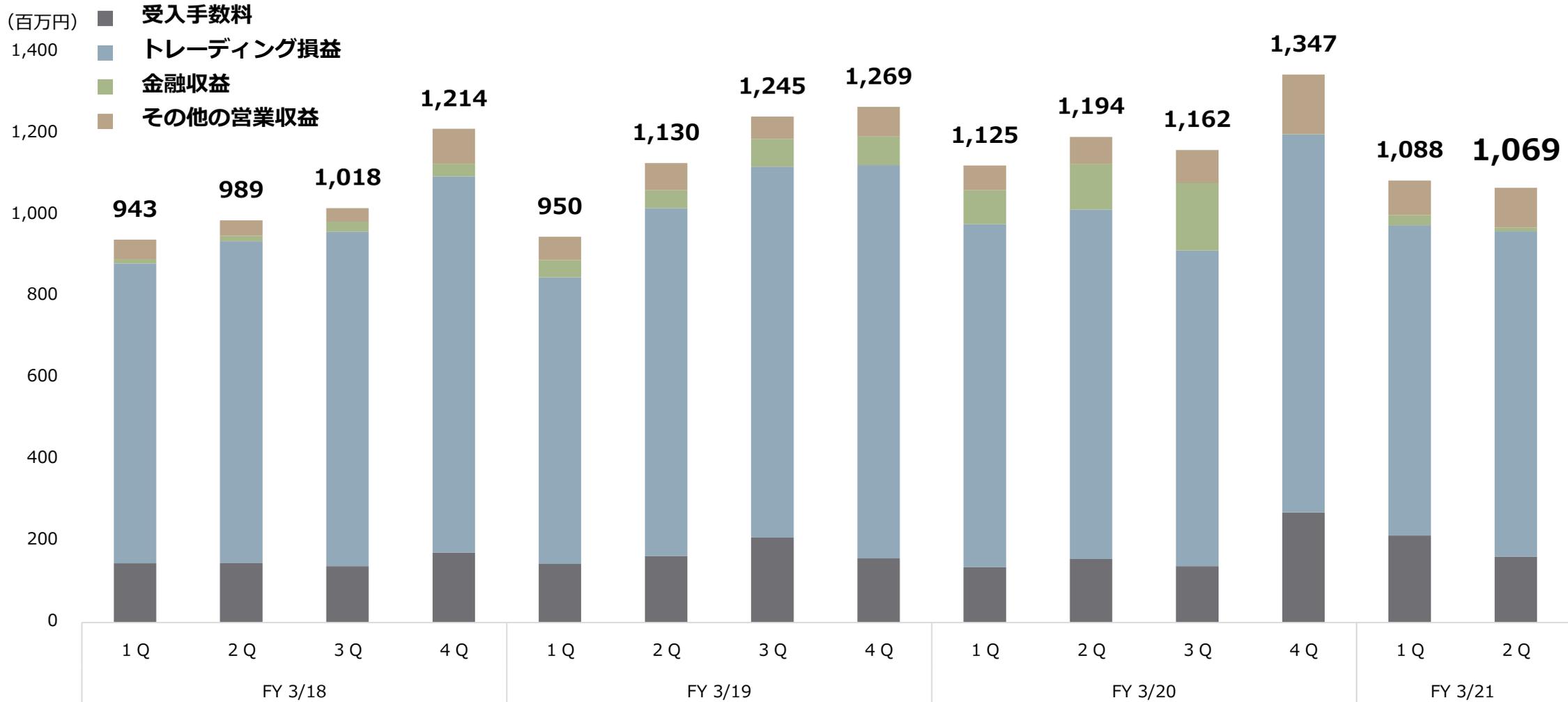
## 第2四半期決算 業績サマリー

単位：百万円	2020年3月期 2 Q (2019.7-9)	2021年3月期 2 Q (2020.7-9)	対前年同期 増減率
営業収益	1,194	1,069	△10.4%
純営業収益	1,128	1,065	△5.6%
営業損失 (△)	△111	△8	—
経常損失 (△)	△90	△54	—
親会社株主に帰属する 四半期純損失 (△)	△65	△37	—

# 営業収益の内訳

## 営業収益は、前年同期比△10.4%の10億69百万円

受入手数料が同+3.9%の1億62百万円、トレーディング損益が同△7.0%の7億99百万円

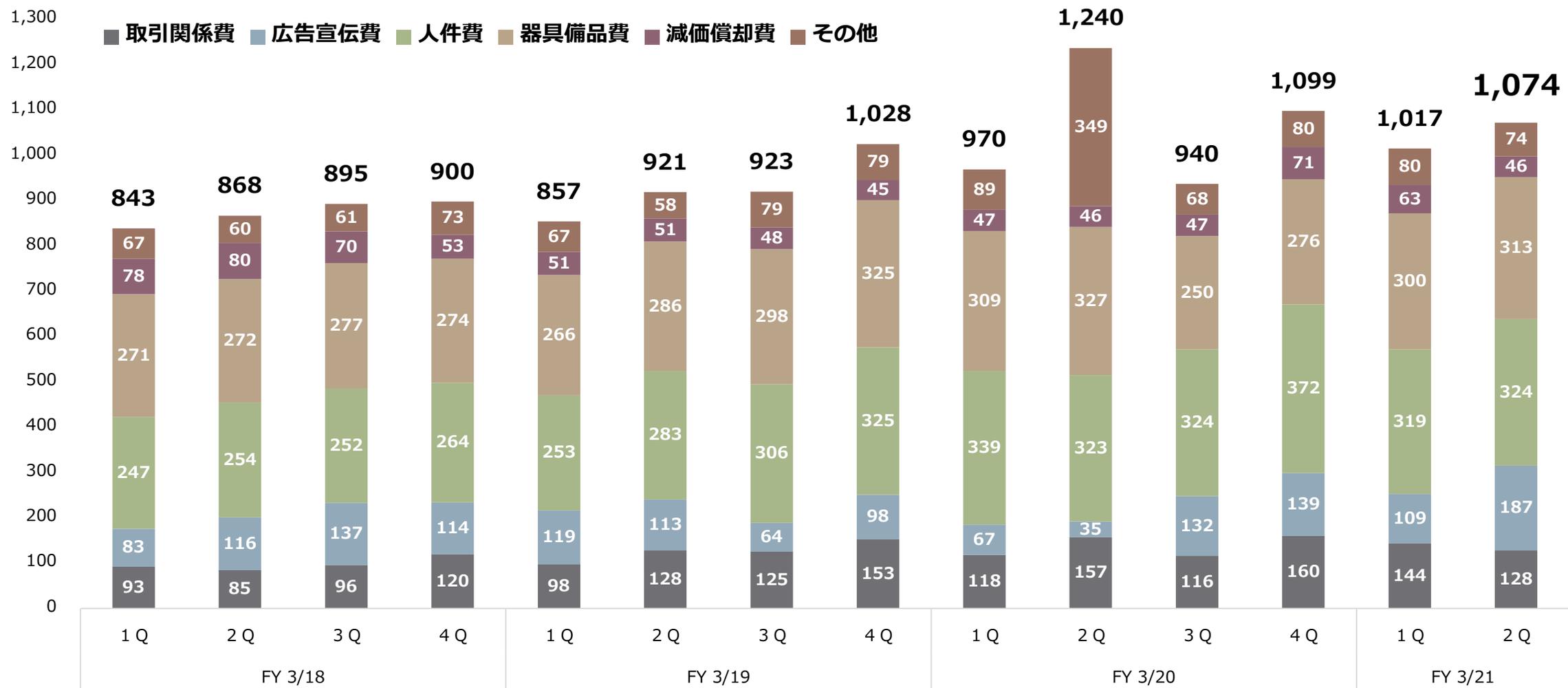


# 販売費・一般管理費の内訳

販売費・一般管理費は、前年同期比△13.4%の10億74百万円

広告宣伝費が同+424.0%、人件費が同+0.4%、取引関係費は同△18.4%、器具備品費は同△4.4%

(百万円)

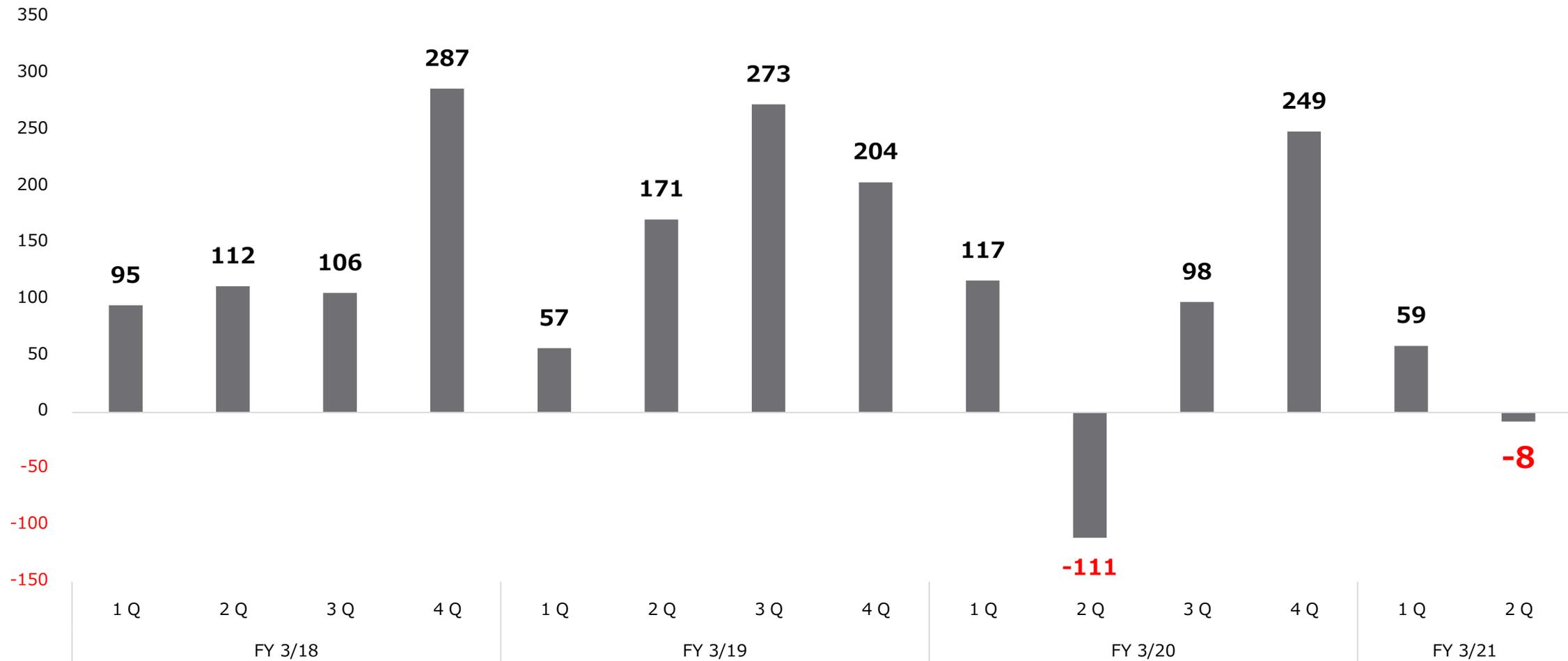


# 営業利益推移

## 営業損失は、8百万円（前年同期は営業損失1億11百万円）

「トライオートFX/ETF」リニューアルにあわせた広告宣伝費等の先行費用が響く  
インヴァスト証券（単体）で、60百万円の営業損失を計上

(百万円)



# 半期決算概要 (2020.4~9)

# 半期決算 業績サマリー

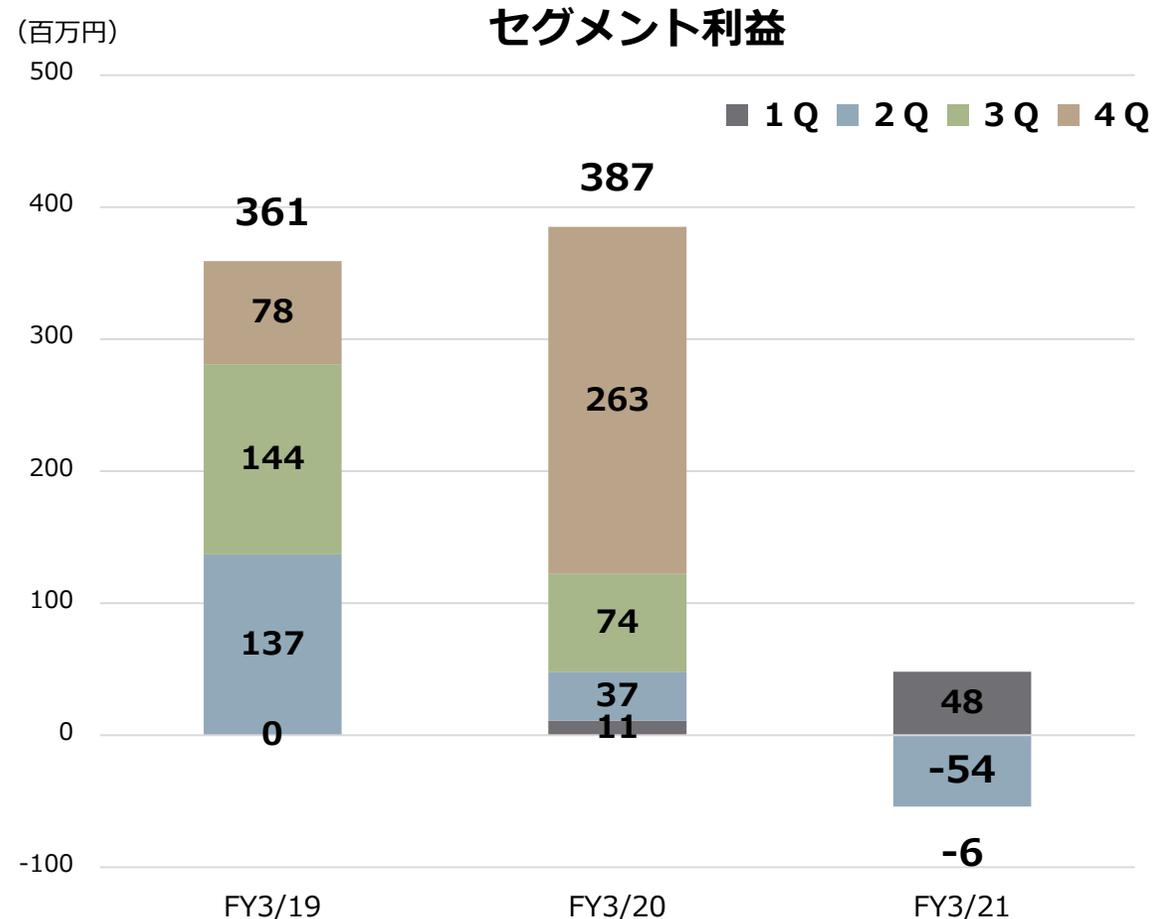
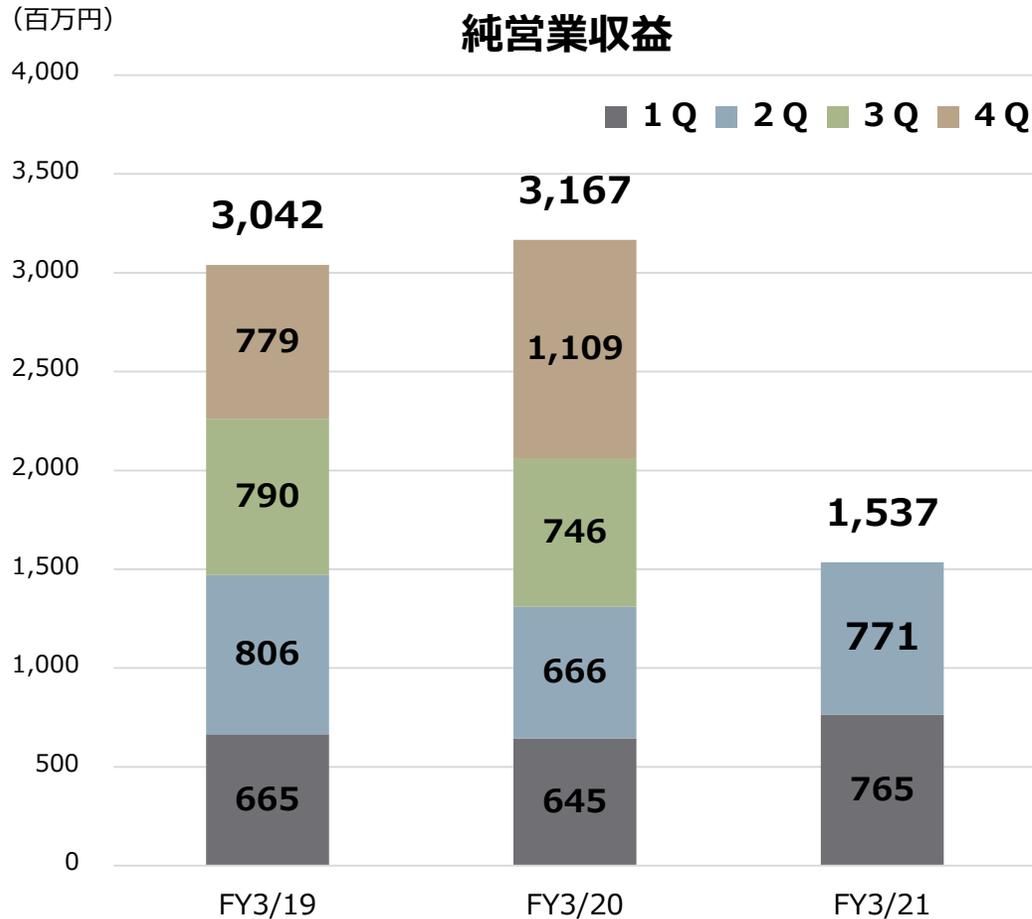
単位：百万円	2020年3月期 2 Q (2019.4-9)	2021年3月期 2 Q (2020.4-9)	対前年同期 増減率
営業収益	2,320	2,157	△7.0%
純営業収益	2,215	2,141	△3.3%
営業利益	5	50	+802.8%
経常利益	20	7	△64.6%
親会社株主に帰属する 中間純利益又は 親会社株主に帰属する 中間純損失 (△)	15	△2	—

# セグメント情報

## 国内金融事業

# 国内金融事業

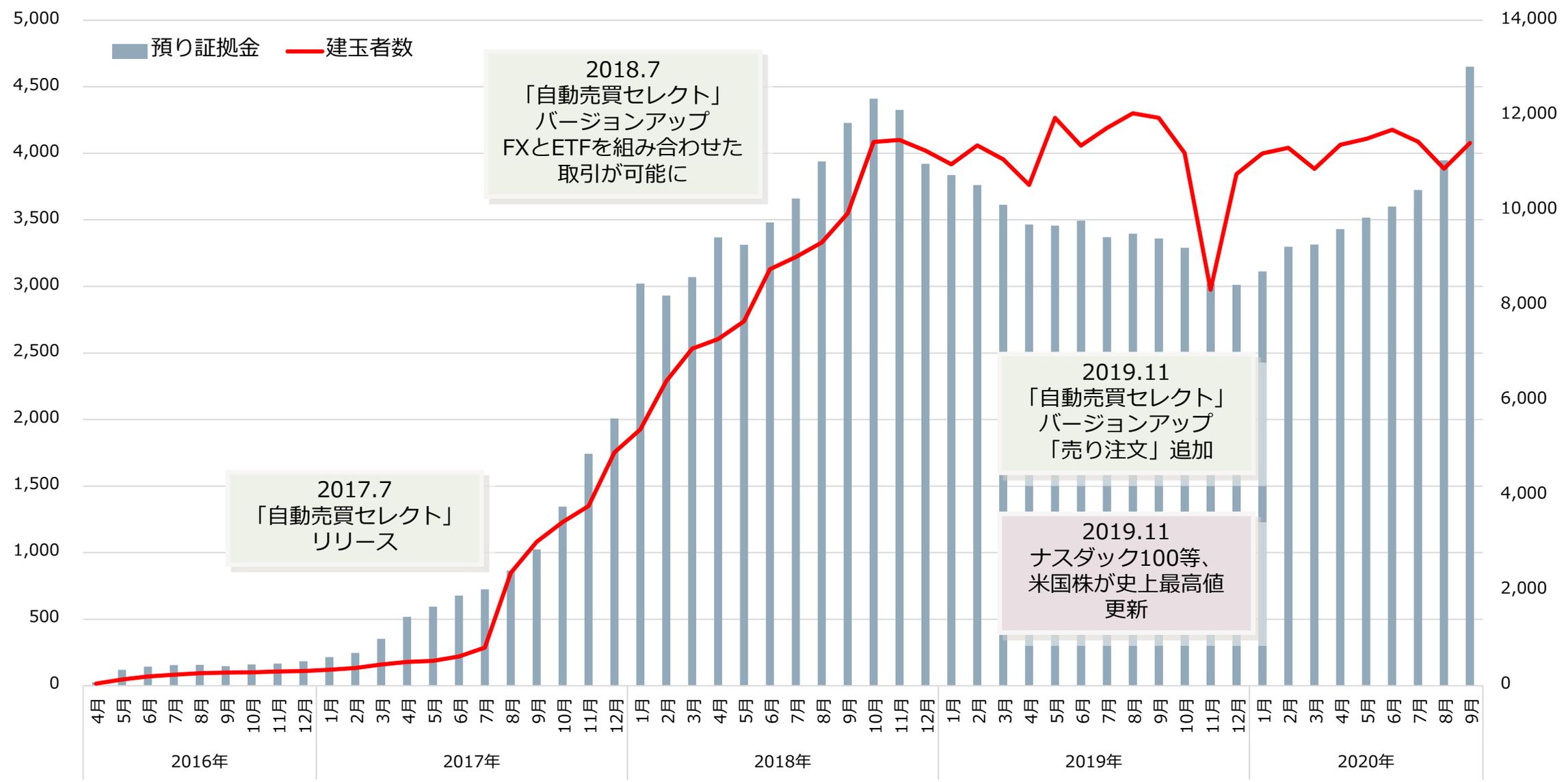
	当第2四半期（会計期間）	当第2四半期（累計期間）
純営業収益	7億71百万円（前年同期比+15.8%）	15億37百万円（同+17.2%）
セグメント損失（△）	△54百万円 （前年同期は37百万円のセグメント利益）	△6百万円 （前年同期は49百万円のセグメント利益）



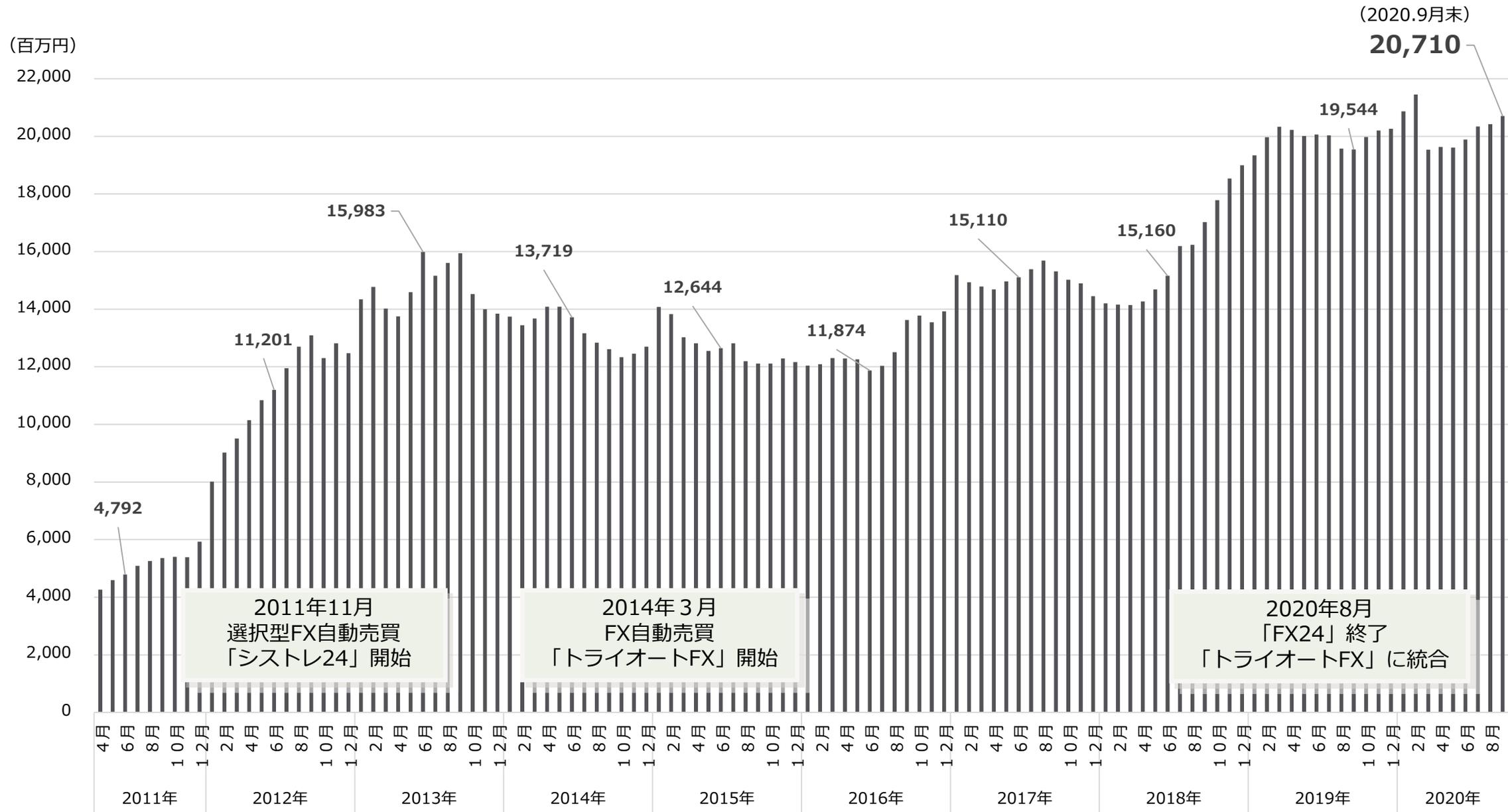
# 【店頭CFD】 預り証拠金・建玉者数

(預り証拠金：百万円)

(建玉者数：人)



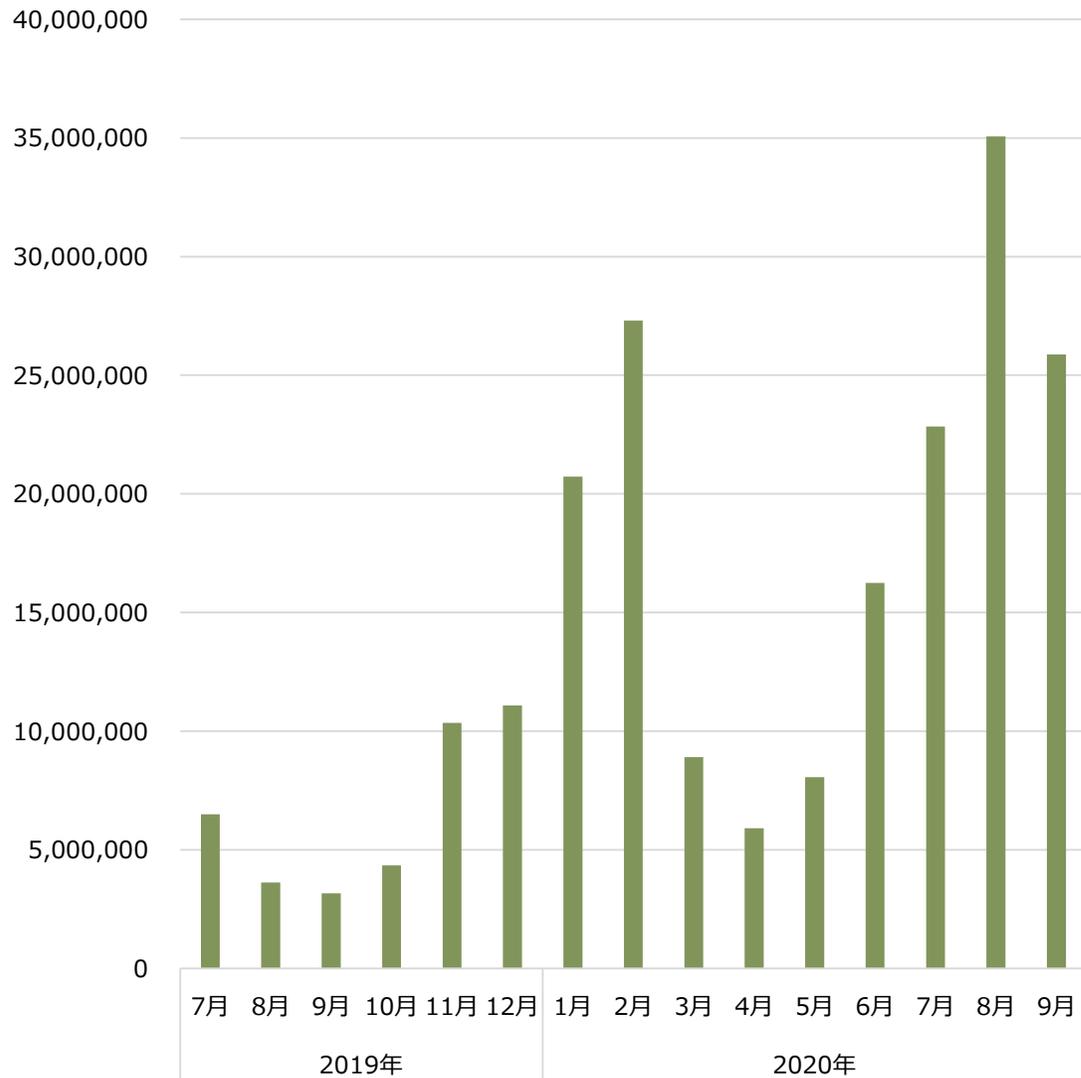
# 【店頭FX】 預り証拠金



# 【店頭CFD/FX】取引高

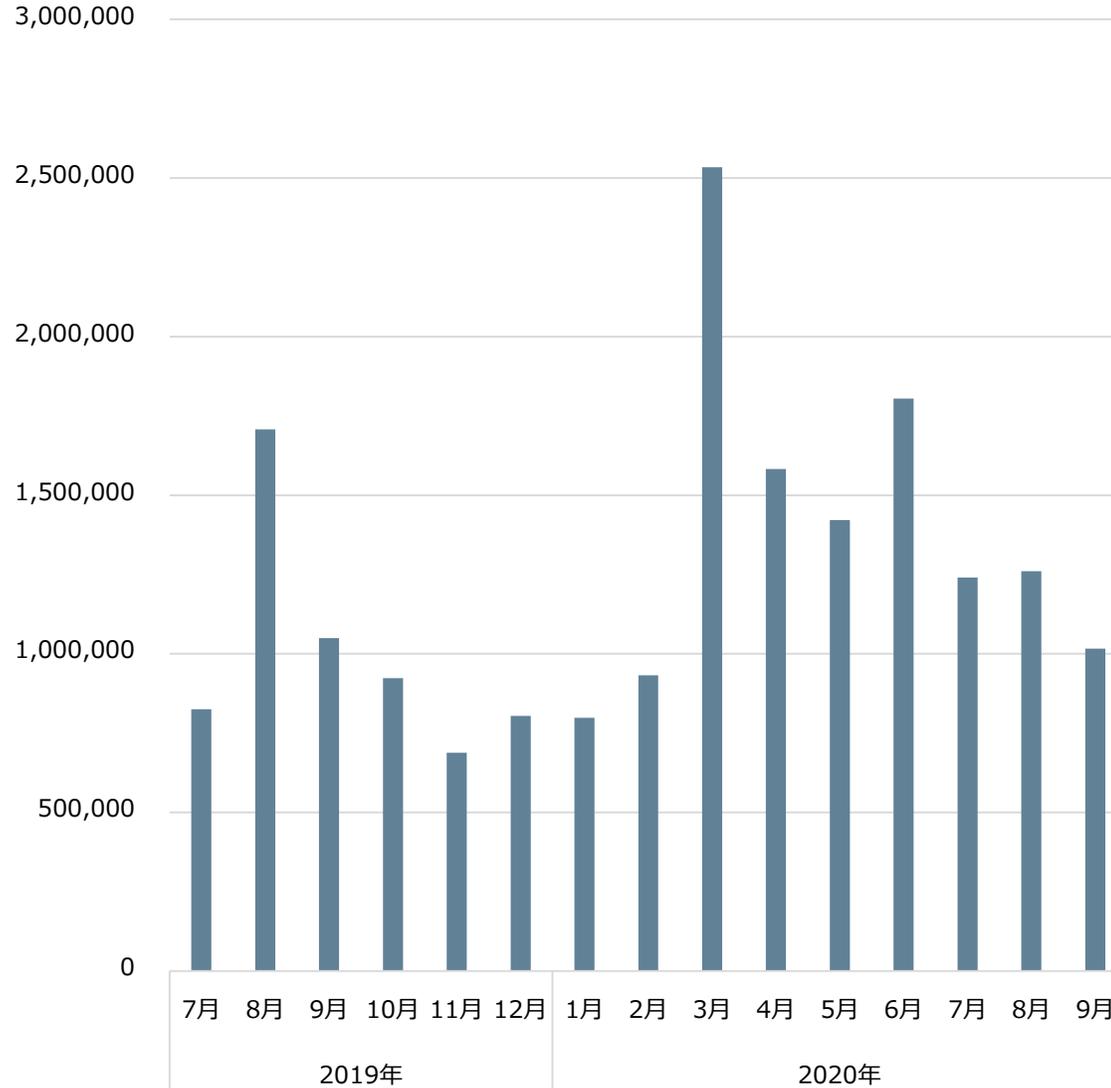
## 店頭CFD 「トライオートETF」

(約定代金：千円)



## 店頭FX 「シストレ24・トライオートFX」

(取引数量：万通貨)

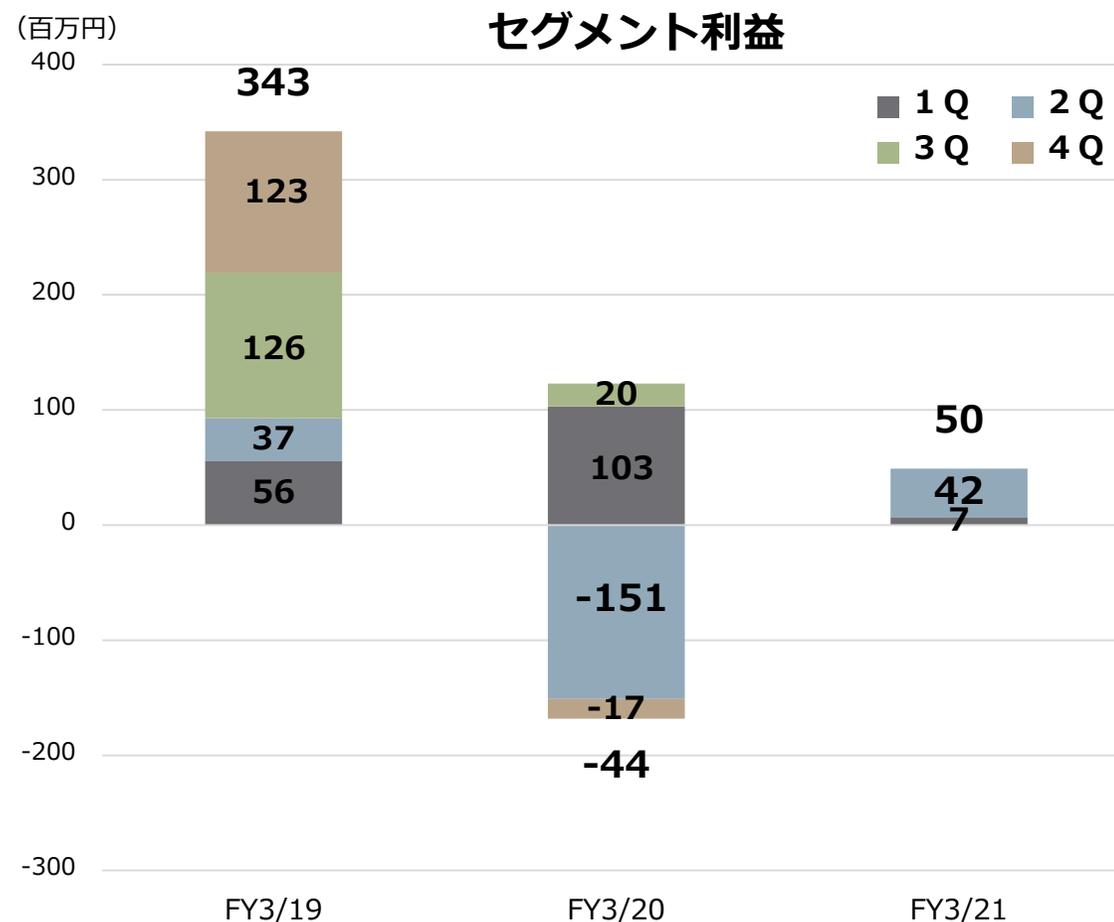
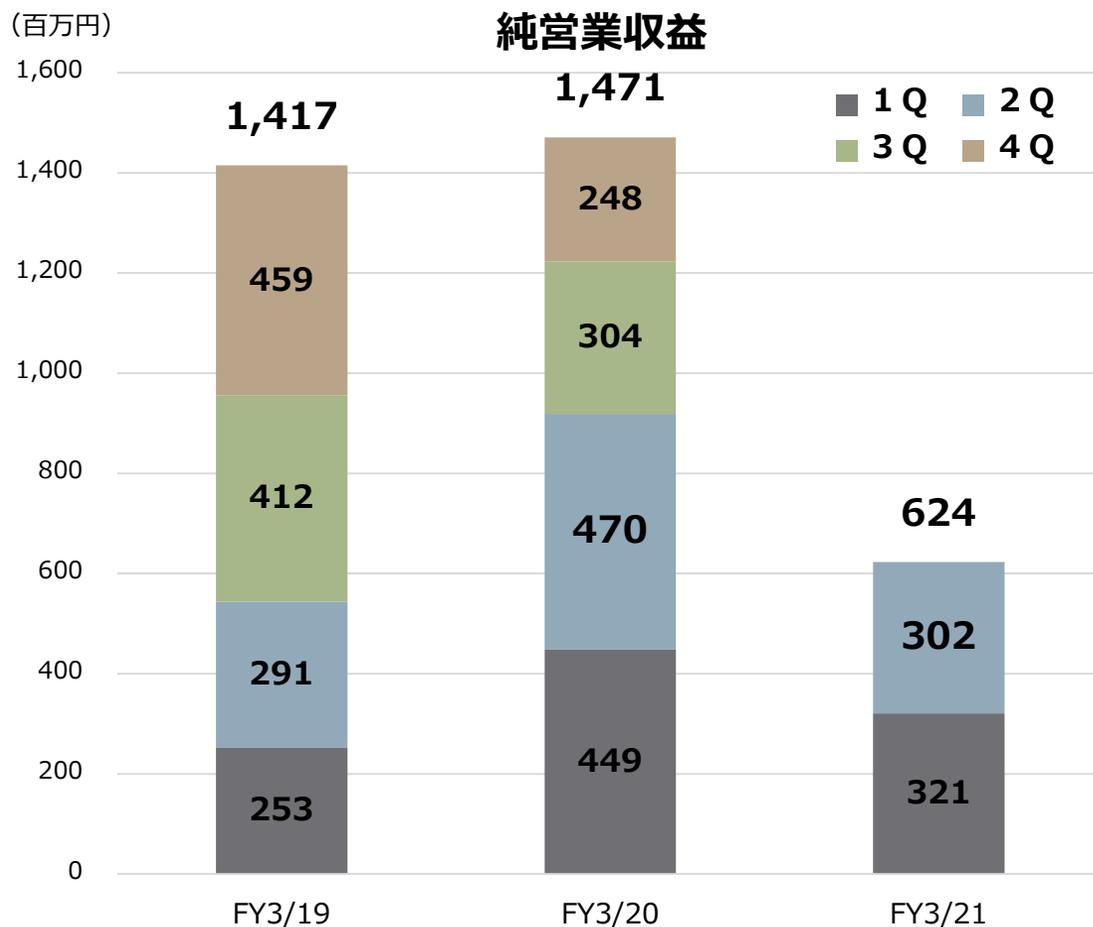


# セグメント情報

## 海外金融事業

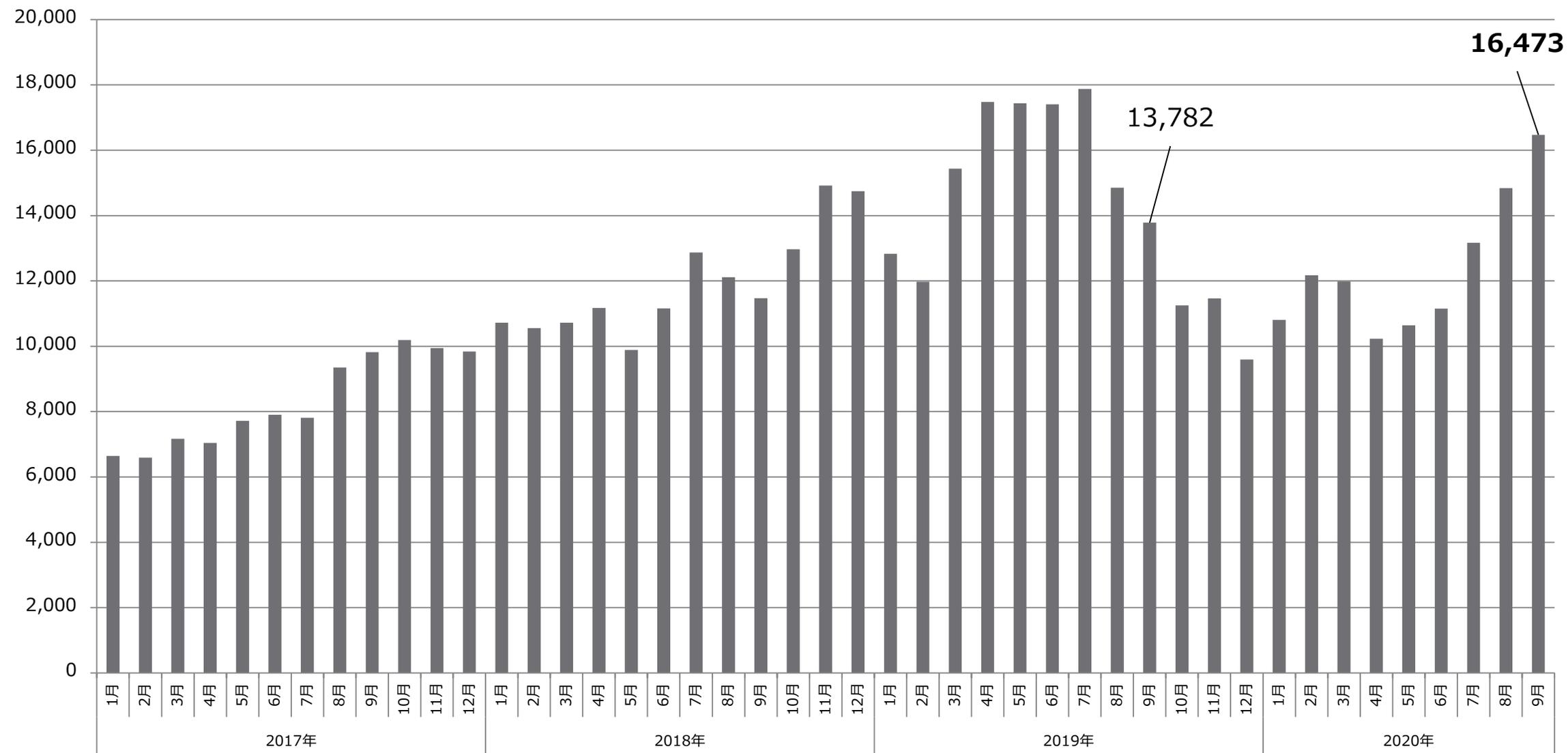
# 海外金融事業

	当第2四半期（会計期間）	当第2四半期（累計期間）
純営業収益	3億2百万円（前年同期比△35.6%）	6億24百万円（同△32.1%）
セグメント利益	42百万円 （前年同期比は1億51百万円のセグメント損失）	50百万円 （前年同期は47百万円のセグメント損失）



# 【IFS】 預り資産推移

(万豪ドル)



# 經營目標・株主還元

# 重視する経営指標①

当社グループは、収益の源泉であり、「お客様からの信頼の証」である**顧客口座数**、**預り証拠金**に加え、グループ全体の事業活動の成果を示す**連結経常利益**を重要視しております。

## 国内金融事業

**預り証拠金：687億3百万円**  
**顧客口座数：56万1,067口座**

2020年9月末現在

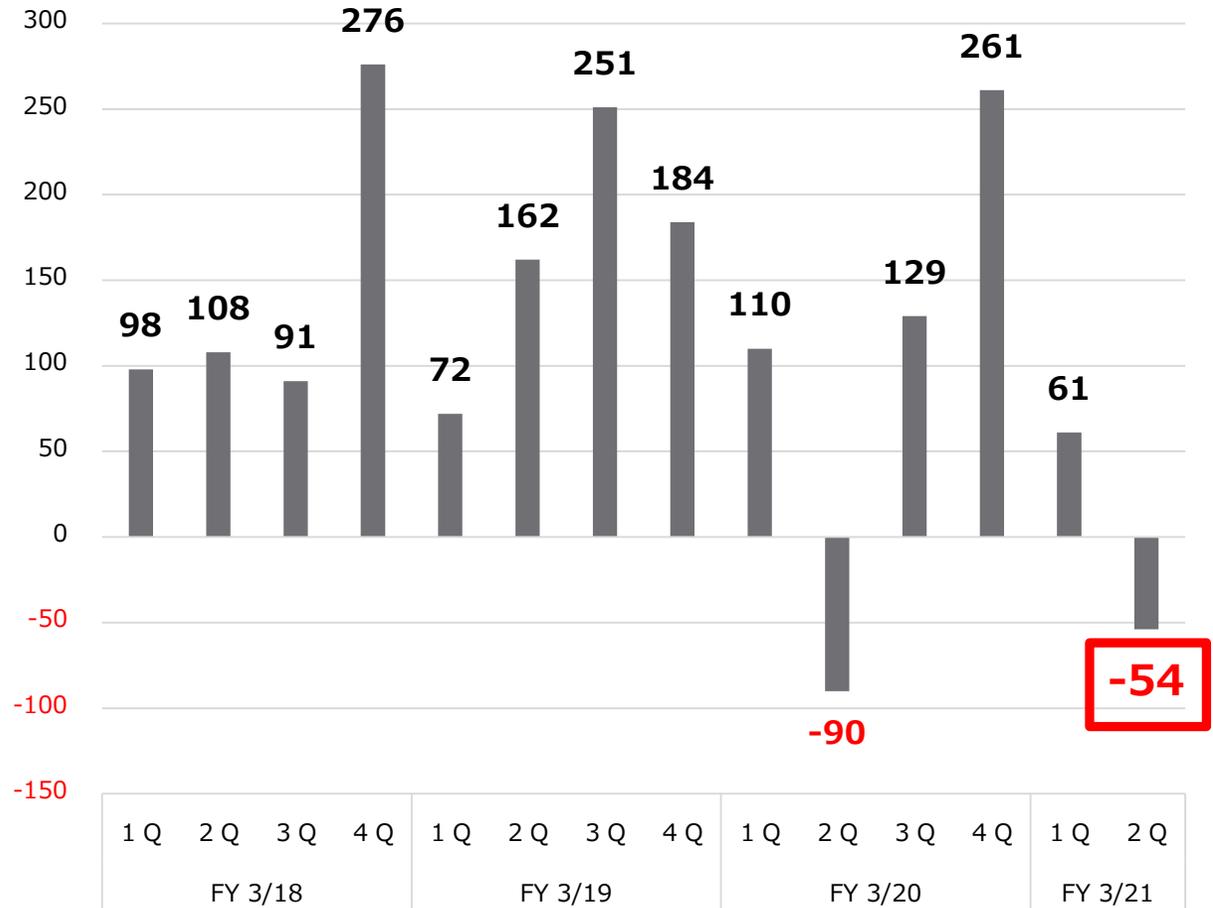
※顧客口座数は、当社の累計開設口座数です。当社では、同一顧客による複数サービスの同時口座開設が可能となっており、サービス毎に1口座として集計しております。

## 海外金融事業

**預り証拠金：1億6,473万豪ドル**

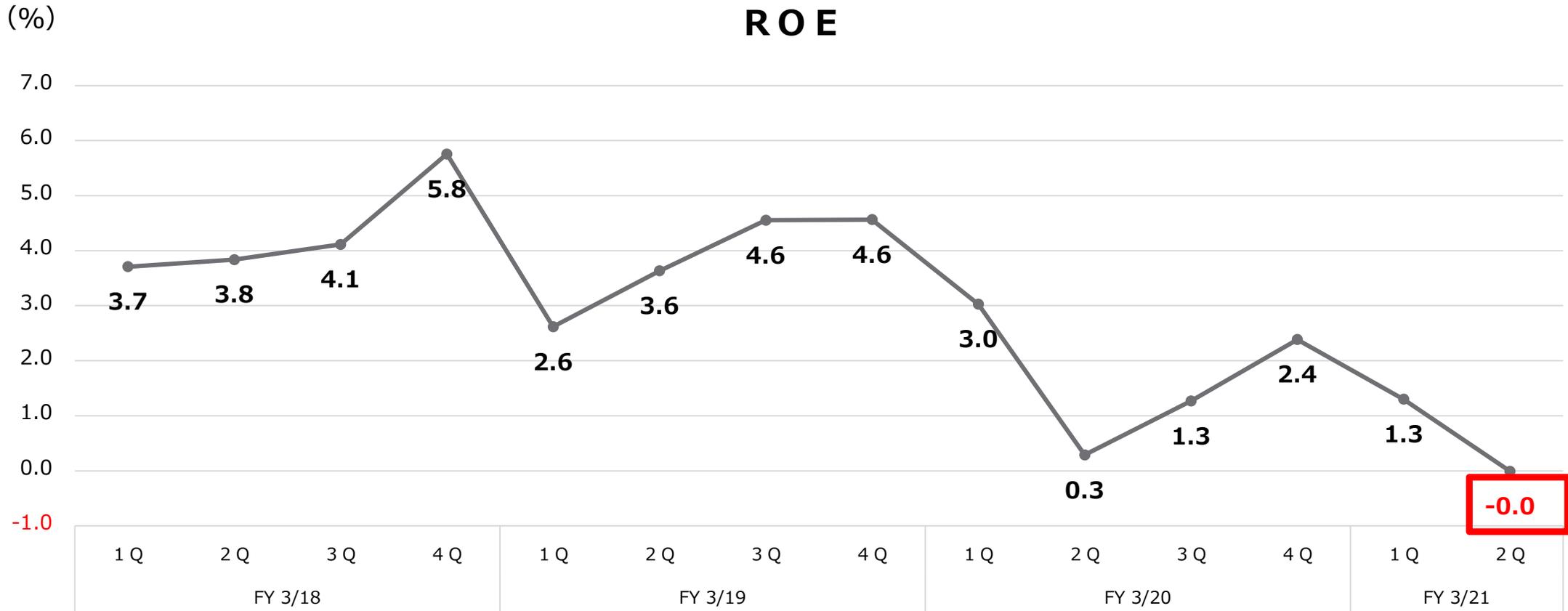
2020年9月末現在

## 経常利益



# 重視する経営指標②

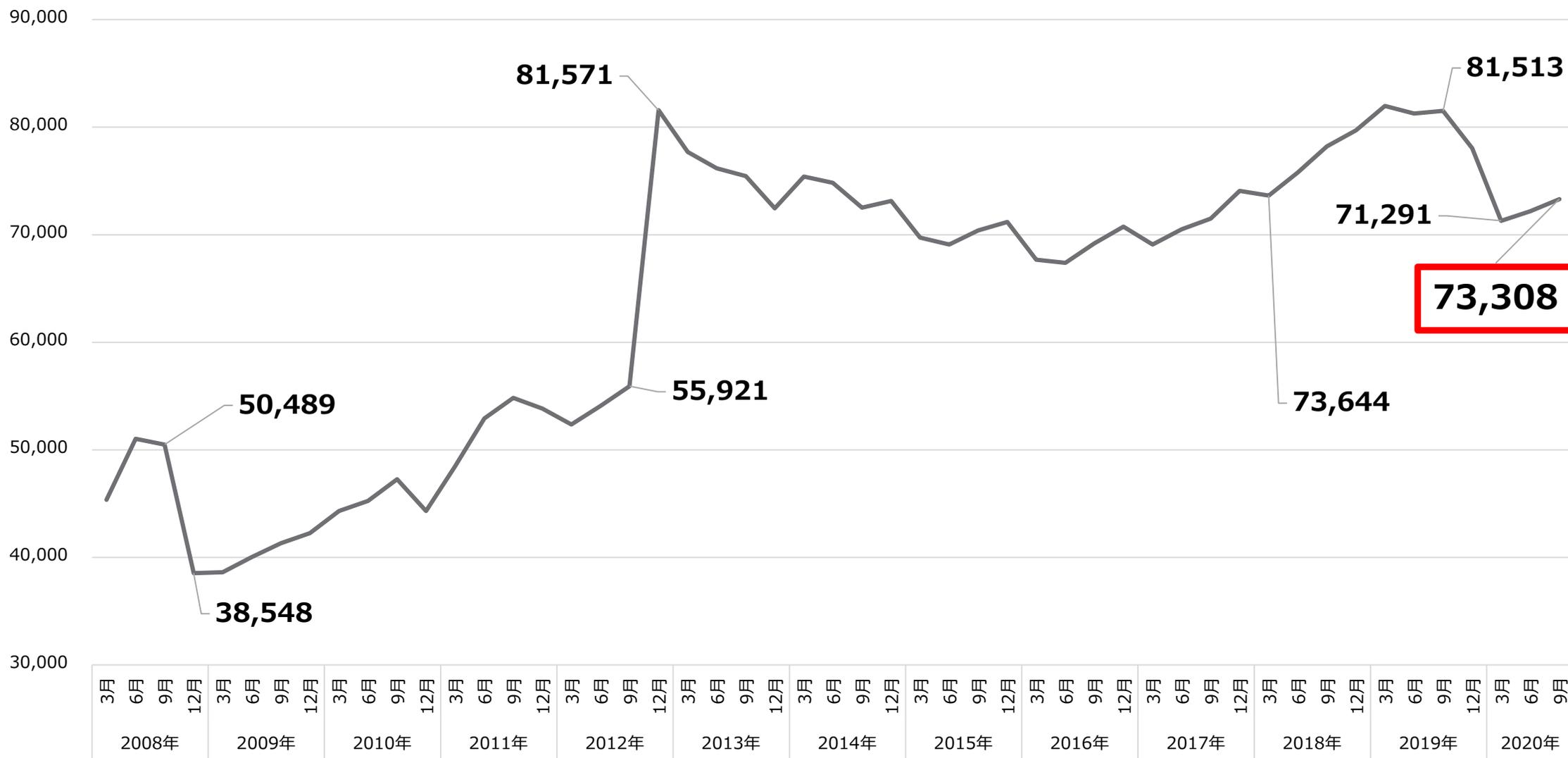
企業価値の向上を目指し、株主資本を有効活用することが重要であるという認識のもと、**株主資本利益率（ROE）**を重要な経営指標として位置づけております。



※ROEは、四半期純利益を年換算して算出しております。

# 【連結】 預り証拠金推移

(百万円)



(注) 連結子会社 I F S の決算日は12月31日となっているため、連結決算への数値の反映は発生から3ヶ月後となります。  
2020年9月末の預り証拠金には、同社の6月末の実績を反映しております。

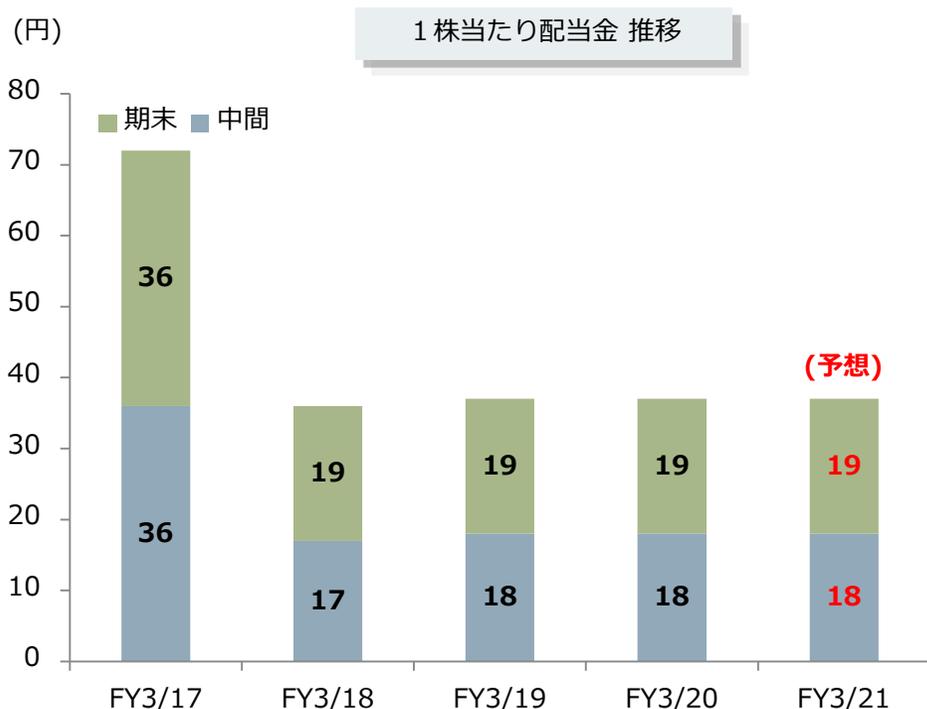
# 株主還元

## ◆配当方針（2018年3月期以降）

連結配当性向30%または連結純資産配当率（D O E）2%（年率）のいずれか高い方を目安とし、中間・期末の年2回の配当を実施

## ◆2021年3月期 配当予想

中間配当 **18円** 期末配当 **19円**



## ◆配当の実績

決算期		17/3月期	18/3月期	19/3月期	20/3月期	21/3月期
1株当たり 配当金額 (円)	中間	36.0	17.0	18.0	18.0	<b>18.0</b>
	期末	36.0	19.0	19.0	19.0	<b>19.0</b> (予想)
	合計	72.0	36.0	37.0	37.0	<b>37.0</b> (予想)
当期純利益 (百万円)		△118	597	486	257	
配当総額 (百万円)		422	211	217	217	
配当性向 (%)		—	35.4	44.7	84.4	
R O E (%)		—	5.8	4.6	2.4	
D O E (%)		4.0	2.0	2.0	2.0	
配当利回り (%) ※		5.5	3.4	4.2	6.8	

※各年度末の終値で算出

# Mission/Vision ・ 経営戦略

# Mission 存在する目的

## 世界をもっと、良い場所にする

世界中の人々の金融面における課題を解決するソリューションを提供し、人々の幸せを通じて世界を「もっと良い場所」にする。私達の考える「もっと良い場所」とは、一生懸命働いている人が、ちゃんと豊かになれる世の中であり、優秀で、意欲のある学生が、お金を理由に未来の選択肢を諦めなくても良い世の中であり、どんな人でも、幸せになる為の資産形成が出来る世の中です。

私達のミッションは、世界中の人々が、それぞれに思い描く人生設計において、金融面の課題を解決するソリューションを生み出すこと、挑戦する人をサポートし、より多くの人々が人生を豊かにするためのチャンスをつかむ、お手伝いをすることです。金融という側面から、世界中の人々の幸せを通じて、より良い世界の構築に貢献していきたいと考えております。

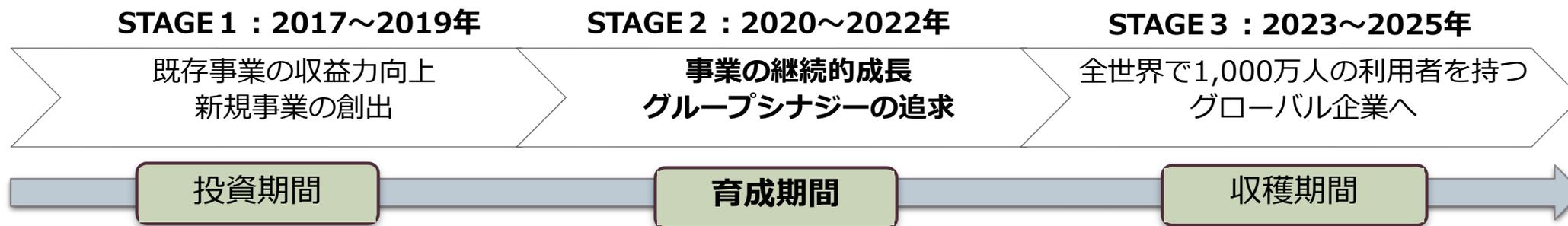
# Vision 目指す姿

## 2025年までに全世界で1,000万人の利用者を持つ

## 金融ソリューションを生み出す

資産運用からスタートし、育児や教育、就職や結婚、資産形成など、世界中の人々の人生における様々な分野で、金融面の課題を解決するソリューションの創造を目指します。私達は、全世界から集まった優秀な人材が、日々、本物のプロフェッショナルとしての責任を果たし、ビジョン達成の為に議論し、決断を下し、実行に移す、世界中に顧客を持つグローバル企業になります。その第一歩として、2025年までに全世界で1,000万人の利用者を持つ金融ソリューションを生み出します。

# ビジョン達成に向けた経営戦略



## 経営戦略（STAGE 2 : 2020~2022年）

### ①事業の継続的成長

- ・国内金融事業：重点事業（トライオート、マイメイト）への経営資源集中
- ・海外金融事業：プライムブローカレッジ市場におけるトップクラスのグローバルマーケットプレイヤーを目指す
- ・R & D、テクノロジー活用を軸とした商品・サービスの高度化

### ②グループシナジーの追求

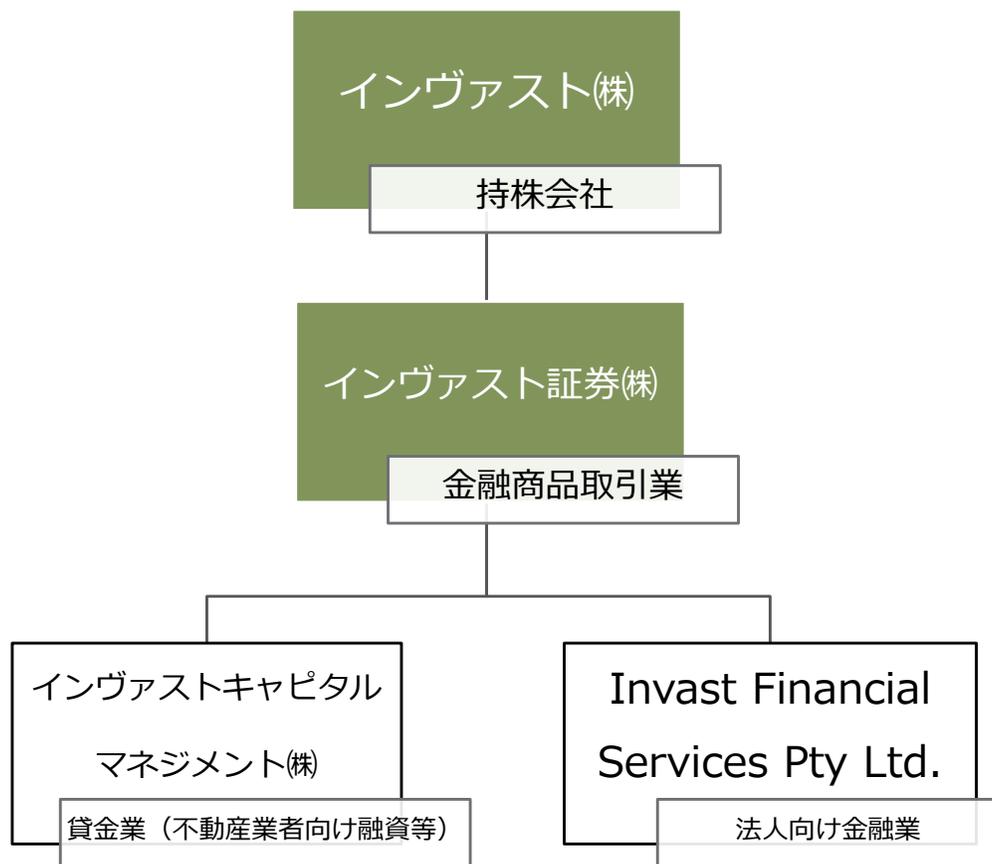
- ・2020年10月、持株会社体制へ移行予定（株式移転完全親会社：インヴァスト株式会社の設立）
- ・新規事業開始等の戦略実行にあたり、柔軟かつスピード感のある機動的な体制の構築
- ・事業ポートフォリオの分散（投資助言、不動産ファイナンス事業等の比率アップ）
- ・グローバルベースでのシナジーの発揮（グループITマネジメント、共通業務の集約化による業務プロセス効率化等）
- ・各子会社成長に加えてM & Aも活用

### ③その他

- ・企業ブランド価値向上（IR・PR）
- ・グローバル展開に対応しうる優秀な人材の獲得、組織の人材基盤強化

# 持株会社化について

2020年10月1日  
株式移転により持株会社を設立



## 持株会社化の目的

- ・ 新規事業の創出や事業の多角化を進めるうえで、業務提携、M & A等の手段を活用しやすくする
- ・ 意思決定の迅速化、リスク管理の最適化

本株式移転に伴い、インヴァスト証券株式は上場廃止となりましたが、持株会社の株式が、いわゆるテクニカル上場により、2020年10月1日より東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）市場に上場いたしました。

銘柄名 インヴァスト株式会社  
コード 7338

## 株式移転により新たに設立する会社（完全親会社・持株会社）の概要

(1) 名称	インヴァスト株式会社（英文名：INV Inc.）
(2) 所在地	東京都中央区東日本橋一丁目5番6号
(3) 代表者	代表取締役社長 川路 猛
(4) 事業内容	グループ会社の経営管理及びこれに付帯する業務
(5) 資本金	500百万円
(6) 設立年月日	2020年10月1日
(7) 決算期	3月31日

## インヴァスト証券の会社概要 (2020年9月30日現在)

■ 会社名	:	インヴァスト証券株式会社 (INVAST SECURITIES CO.,LTD.)
■ 所在地	:	東京都中央区東日本橋一丁目5番6号
■ 設立年月日	:	1960年8月10日
■ 資本金	:	59億6,508万円
■ 上場取引所	:	当社は、単独株式移転に伴い上場廃止となりましたが、完全親会社であるインヴァスト株式会社の株式が2020年10月1日に東京証券取引所JASDAQ (スタンダード) 市場に上場いたしました。
■ 代表者	:	代表取締役社長 川路 猛 (かわじ たけし)
■ 主要な事業	:	金融商品取引業 (第1種/第2種/投資助言業) 関東財務局長 (金商) 第26号
■ 加入取引所	:	東京金融取引所

- 本資料に掲載されている情報は、当社グループの事業の情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料に記載されている情報には、将来の見通しに関する記述が含まれています。将来の見通しに関する記述には、様々なリスクや不確定要因が伴うため、現実の結果が将来の見通しに関する記述に含まれる内容または将来の見通しに関する記述で示唆されている内容と大きく変わる可能性があります。
- 本資料に掲載されている情報の正確性については万全を期しておりますが、その時点で提供可能な情報であり、その完全性、正確性、適用性、有用性等いかなる保証も行っておりません。
- 掲載された情報に基づく判断については、利用者の責任のもとに行うこととし、当社はこれにかかわる一切の責任を負うものではありません。